

教室では8月8日(パチパチそろばんの日)の競技大会におきて、大会用の暗算問題、読み上げ算の練習を開始しています。読み上げ算は何といっても集中力が不可欠！一瞬でも気を抜いたらその時点でゲームオーバー。読み上げ算は大別すると‘けた揃い’と‘けた違い’があり、前者は全ての数字が同じけた数となるので比較的容易ですが、後者はけた数がバラバラ(ランダム)に出題されるので難易度が一気に跳ね上がります。間違っても良いので最後まで粘り強く諦めずについていくことが上達のコツ。ミスしてもすぐにやり直し、どんなことがあっても最後までやり通す精神力が求められます。ネバー・ギブアップ！

第 434 回 全珠連主催 検定試験

試験日：令和 8 年 7 月 19 日 (日) *アイウエオ順

視
努力が実を結びました！



そろばん 珠算検定				
合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
1 級	北 國 美 怜	牛久保小	6 年生	高 見
	原 田 拓 澄	南 部 中	二年生	高 見
2 級	陶 山 嘉 良	金 屋 小	5 年生	塔ノ木
	山 本 真 子	桜 町 小	6 年生	高 見
3 級	安 藤 花 椰	天 王 小	5 年生	塔ノ木
	徳 升 瑞 樹	牛久保小	5 年生	高 見
暗算検定 あんざん				
合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
1 級	山 本 真 子	桜 町 小	6 年生	高 見
2 級	黒 瀬 凌 太	牛久保小	5 年生	塔ノ木
	中 末 結 花	牛久保小	6 年生	塔ノ木
3 級	西 垣 壘 唯	牛久保小	5 年生	高 見

合格
おめでとう！

＊2ヶ月に一度(奇数月に開催)の全珠連検定、特にそろばん検定は多くの点で日常の練習とは異なります。
まず、試験会場がいつもの教室ではなく別会場(生涯学習センター)であるということ、環境が違っていると気分が落ち着かなくなる生徒もいます。次に他のそろばん教室の生徒と一緒に受験するのでそれとなく周りの空気が違うこと、そして、そろばんは6種目となり試験スタートから終了までおおよそ60分間なので集中力の持続が難しいこと…などがあります。
これらのことが理由でカラダが固くなってしまい、本来の実力が発揮できない生徒もときどき見受けられます。ではどうすれば良いのでしょうか？こうすれば絶対に緊張しないという魔法がある訳ではありません。ただ、確実に言えることは、教室での練習時から本番モードで取り組むこと、あんなに練習したのだからまあ大丈夫だろう！とマイペースで臨むこと、そしてもしも不合格になっても2か月後に再受験できるんだ！という良い意味での‘開き直りマインド’をもつこと…あたりが大切なような気がします。
受験者のなかには検定試験そのものが初体験という生徒もいます。こういった非日常的な空間を繰り返し経験することで大半の生徒は緊張感に対する免疫力がついてきますし、検定試験に臨む心構えも備わってきます。そろばん学習を通して、珠算スキルのみならず、すこしずつ人生の経験値を上げていきましょう。さまざまな体験がこれからの長い人生で役立つ財産になりますよ～。

✓ 次回の全珠連検定試験は令和 8 年 9 月 27 日 (1～3 級あんざんは 24 日&25 日)